

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
理科・科学と人間生活		2	6	8	1
目標	自然と人間生活とのかかわり、科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
評価規準	太陽の光がすべての生命を支えていること、科学技術の発展が衣・食・住に大きな影響を及ぼしていることを理解している。観察実験などを通して、探究の進め方を体得している。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	さまざまな微生物	生態系における微生物のはたらきを理解する。		
	2	私たちの暮らしへの微生物の利用	微生物の食品や薬品への利用を理解する。		
2	3	ヒトの視覚と光	ヒトの目の構造と調節について理解する。		
	4	免疫と遺伝子	生体防御システムとタンパク質合成について理解する。		
3	5	リサイクルとは何か	資源の再利用について理解する。		
	6	金属・プラスチック	金属・プラスチックの特性と用途を理解する。		
4	7	太陽と地球	太陽と人間生活の関係を理解する。		
	8	太陽が動かす大気と水	太陽がつくる大気と海洋の循環について理解する。		
5	9	自然景観の成り立ち	身近な自然景観の成り立ちを理解する		
	10	自然災害と防災	地震・火山・気象災害と防災について理解する。		
6	11	光とは何か	光の性質とその利用について理解する。		
	12	熱とは何か	熱とエネルギーについて理解する。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
理科・地学基礎		2	6	8	2
目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
評価規準	身の回りの自然や環境に興味、関心を持ち、基本的な知識を身につけている。観察実験などを通じて、探究の進め方を体得している。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	宇宙の構造と進化	宇宙の誕生と膨張の原理を理解する。		
	2	太陽と惑星	太陽系の誕生と進化について理解する。		
2	3	地層	地層の形成と地質構造について理解する。		
	4	生命の変遷	生物の進化について理解する。		
3	5	大地とその動き	地球の構造と内部の動きを理解する。		
	6	地震	地震のメカニズムを理解する。		
4	7	火山①	プレートの分布と大地の形成について理解する。		
	8	火山②	火山の恵みと災害について理解する。		
5	9	大気と海洋①	大気と海洋の構造と地球全体の熱収支について理解する。		
	10	大気と海洋②	大気の大循環を理解する。		
6	11	日本の自然環境	日本の自然環境の特徴を理解する。		
	12	災害と防災	災害と人間の関わりを理解する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
理科・生物基礎		2	6	8	3
目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。				
評価規準	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができているか。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	生物の特徴	生物の共通性と生命活動における代謝について理解する。		
	2				
2	3	遺伝子とその働き	DNAの構造と複製の仕組み、およびタンパク質合成の過程を理解する。		
	4				
3	5	体内環境の維持	体液と肝臓・腎臓の働きを理解する。		
	6				
4	7	体内環境を保つしくみと守るしくみ	自律神経系とホルモンによる調節を理解する。免疫のシステムを理解する。		
	8				
5	9	植生の多様性と生態系	生態系における植生の役割と遷移について理解する。世界と日本のバイオームについて理解する。		
	10				
6	11	生態系とその保全	生態系での物質の流れを理解する。生態系のバランスと生物多様性の保全について理解する。		
	12				
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
環境・環境		2	6	6	日3・平4
目標	我々を取り巻く環境を、自然科学の面だけではなく、政治・経済も含んだ問題としてとらえ今我々が何をなすべきかを考えさせる。				
評価規準	環境問題が人類と自然の対立から発生したことを様々なデータを通して理解することができたか、全地球的な重大な課題である環境問題の解決に向けて考えることができているか。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	地球環境問題とは	地球環境問題とは、局地的な問題ではなく、世界の国々の諸活動が関係していることを考える。		
	2				
2	3	さまざまな環境問題①	地球温暖化、酸性雨、森林破壊など個々の問題について考え、根底に共通するものについて考える。		
	4				
3	5	さまざまな環境問題②	大量生産・大量消費に伴う廃棄物問題を学習し、問題解決の方法を考える。		
	6				
4	7	さまざまな環境問題③	生活レベルの向上に伴うエネルギーの大量使用が及ぼす環境への影響や、戦争が環境に及ぼす影響について考える。		
	8				
5	9	さまざまな環境問題④	環境汚染と環境影響評価制度について学習し、環境保護について考える。		
	10				
6	11	地域の自然と人の活動の関係	自然と人と生物の関係や災害について学習し、環境問題の克服や防災について考える。		
	12				
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・体育1		2	2	10	1
目標	<p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。自己やグループの能力、運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫し必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>・スポーツの意義や必要性を理解し、スポーツのかかわり方や豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。</p>				
評価規準	各種の運動を実践し運動技能を高め、基礎体力向上を目指す。互いに協力し、協調して取り組めたか、競技ルールの把握、授業態度、レポート等で評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1 ・ 2	1	オリエンテーション・柔軟体操 集団行動	年間の学習を知る。体ほぐしをしたり、体力を高めたり、生活の中で運動を実践できるようにする。	※スポーツ交流会にて4単位時間認められる。	
	2				
	3	新体力テスト	自己の体力・運動能力の現状を確かめ、今後の運動実践に対する課題を見つける。		
	4				
	5	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	6				
	7	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	8				
	9	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	10				
	11	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	12				
	13	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	14				
評価方法	<p>レポート・スクーリング・実技を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。</p> <p>・持久走テストは必修。</p> <p>・安全上、装飾品の装着は認めない。</p> <p>・必ず体操服を着用すること。</p> <p>・授業妨害・迷惑行為を行った場合は評価及び単位認定は行わない。</p>				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・体育2		2	2	10	2
目標	<p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。自己やグループの能力、運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫し必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>・スポーツの意義や必要性を理解し、スポーツのかかわり方や豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。</p>				
評価規準	各種の運動を実践し運動技能を高め、基礎体力向上を目指す。互いに協力し、協調して取り組めたか、競技ルールの把握、授業態度、レポート等で評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1 ・ 2	1	オリエンテーション・柔軟体操 集団行動	年間の学習を知る。体ほぐしをしたり、体力を高めたり、生活の中で運動を実践できるようにする。	※スポーツ交流会にて4単位時間認められる。	
	2				
	3	新体力テスト	自己の体力・運動能力の現状を確かめ、今後の運動実践に対する課題を見つける。		
	4				
	5	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	6				
	7	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	8				
	9	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	10				
	11	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	12				
	13	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	14				
評価方法	<p>学習態度、実技等(60点)とレポート点(40点)で評価する。</p> <p>・持久走テストは必修。</p> <p>・安全上、装飾品の装着は認めない。</p> <p>・必ず体操服を着用すること。</p> <p>・授業妨害・迷惑行為を行った場合は評価及び単位認定は行わない。</p>				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・体育3(2単位)		2	2	10	平3
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。自己やグループの能力、運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫し必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。 ・スポーツの意義や必要性を理解し、スポーツのかかわり方や豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。 				
評価規準	各種の運動を実践し運動技能を高め、基礎体力向上を目指す。互いに協力し、協調して取り組めたか、競技ルール of 把握、授業態度、レポート等で評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1 ・ 2	1	オリエンテーション・柔軟体操 集団行動	年間の学習を知る。体ほぐしをしたり、体力を高めたり、生活の中で運動を実践できるようにする。	※スポーツ交流会にて4単位時間認められる。	
	2				
	3	新体力テスト	自己の体力・運動能力の現状を確かめ、今後の運動実践に対する課題を見つける。		
	4				
	5	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	6				
	7	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	8				
	9	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	10				
	11	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	12				
	13	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	14				
評価方法	学習態度、実技等(60点)とレポート点(40点)で評価する。 ・持久走テストは必修。 ・安全上、装飾品の装着は認めない。 ・必ず体操服を着用すること。 ・授業妨害・迷惑行為を行った場合は評価及び単位認定は行わない。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・体育4		2	2	10	4
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。自己やグループの能力、運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫し必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。 ・スポーツの意義や必要性を理解し、スポーツのかかわり方や豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。 				
評価規準	各種の運動を実践し運動技能を高め、基礎体力向上を目指す。互いに協力し、協調して取り組めたか、競技ルール of 把握、授業態度、レポート等で評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1 ・ 2	1	オリエンテーション・柔軟体操 集団行動	年間の学習を知る。体ほぐしをしたり、体力を高めたり、生活の中で運動を実践できるようにする。	※スポーツ交流会にて4単位時間認められる。	
	2				
	3	新体力テスト	自己の体力・運動能力の現状を確かめ、今後の運動実践に対する課題を見つける。		
	4				
	5	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	6				
	7	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	8				
	9	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	10				
	11	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	12				
	13	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	14				
評価方法	学習態度、実技等(60点)とレポート点(40点)で評価する。 ・持久走テストは必修。 ・安全上、装飾品の装着は認めない。 ・必ず体操服を着用すること。 ・授業妨害・迷惑行為を行った場合は評価及び単位認定は行わない。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・体育3(3単位)		3	3	15	日3
目標	<p>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正、協力、責任などの態度を身に付ける。自己やグループの能力、運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫し必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。</p> <p>・スポーツの意義や必要性を理解し、スポーツのかかわり方や豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。</p>				
評価規準	<p>各種の運動を実践し運動技能を高め、基礎体力向上を目指す。互いに協力し、協調して取り組めたか、競技ルール of 把握、授業態度、レポート等で評価する。</p>				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1 2 3	1	オリエンテーション・柔軟体操	年間の学習を知る。体ほぐしをしたり、体力を高めたり、生活の中で運動を実践できるようにする。	※スポーツ交流会にて4単位時間認められる。	
	2	集団行動			
	3	新体力テスト	自己の体力・運動能力の現状を確かめ、今後の運動実践に対する課題を見つける。		
	4				
	5	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	6				
	7	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	8				
	9	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	10				
	11	心肺蘇生法実習	心肺蘇生法等の原理や方法に関して理解し、実践できるようにする。		
	12	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	13				
	14	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	15				
	16	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	17				
	18	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	19				
	20	球技・体操・縄跳び	球技の特性を知り、パス・ドリブルシュート等の基本的な技能を修得し、仲間とゲームができるようになる。		
	21				
	22	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	23	持久走テスト	体力、身体状況に応じ、限られた時間内に多くの距離を走り、心肺機能の向上をはかる。		
	24				
評価方法	<p>学習態度、実技等(60点)とレポート点(40点)で評価する。</p> <p>・持久走テストは必修。</p> <p>・安全上、装飾品の装着は認めない。</p> <p>・必ず体操服を着用すること。</p> <p>・授業妨害・迷惑行為を行った場合は評価及び単位認定は行わない。</p>				



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・保健[日曜クラス]		2	6	2	日1
目標	1 健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選び実践することや、そのために必要な環境を改善する努力の大切さを理解する。 2 我が国の保健医療制度について理解し、生涯を通じて健康課題に対応できる能力を身に付ける。				
評価規準	保健の評価は「主体的な態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3観点の内容をもとに、各領域(種目)ごとに評価規準をつくり日頃の授業の中で、下記にまとめた評価の方法で評価を行い「成績」の資料とします。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	健康の考え方と成り立ち/私たちの健康のすがた/生活習慣の予防と回復	現代の保健課題に関して理解し、その解決に向けて課題を発見し、個人の取り組み及び社会的な対策に応用できる。		
2	2	喫煙と健康/飲酒と健康/薬物乱用と健康	喫煙・飲酒・薬物乱用が心身に与える影響を理解し、防止策を考え表現できるようになる。		
3	3	精神疾患の特徴/精神疾患の予防/精神疾患からの回復	精神疾患の症状・状態、その予防と回復について理解し、心身の健康を保つための取り組みについて考え表現できるようになる。		
4	4	現代の感染症/感染症の予防/性感染症・エイズとその予防	現在問題となっている感染症の発生や流行、感染リスクを軽減し予防する方法を理解し、個人及び社会的な対策に応用できる。		
5	5	ライフステージと健康/思春期と健康/性意識と行動の選択/妊娠と出産	生涯を通じる健康について理解を深め、健康に関する原則や概念に着目して、解決の方法を考え表現できる。		
6	6	応急手当の意義とその基本/日常的な応急手当/心肺蘇生法	応急手当、日常的な応急手当、心肺蘇生法の意義や手順について理解し、安全な社会の実現に向けての取り組みを説明できる。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
保健体育・保健[平日クラス]		2	6	2	平2
目標	1 健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選び実践することや、そのために必要な環境を改善する努力の大切さを理解する。 2 我が国の保健医療制度について理解し、生涯を通じて健康課題に対応できる能力を身に付ける。				
評価規準	保健の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3観点の内容をもとに、各領域(種目)ごとに評価規準をつくり日頃の授業の中で、下記にまとめた評価の方法で評価を行い「成績」の資料とします。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	私たちの健康のすがた/健康のとらえ方/健康と意志決定・行動選択/健康に関する環境づくり/生活習慣病とその予防	健康の定義について理解する。		
2	2	喫煙と健康/飲酒と健康/薬物乱用と健康	喫煙・飲酒・薬物乱用の現状と対策について理解する。		
3	3	現代の感染症/感染症の予防/性感染症・エイズとその予防	現在問題となっている感染症について理解する。エイズの実態や予防のための知識を理解する。		
4	4	欲求と適応機制/心身の相関とストレス/ストレスの対処	欲求の種類や、どのように欲求が生じるか理解する。心身相関やストレスについて説明できるようになる。		
5	5	思春期と健康/性意識と性行動の選択/結婚生活と健康/妊娠・出産と健康/家族計画と人工妊娠中絶	思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解する。男女差の性的欲求や、性行動について理解する。		
6	6	応急手当の意義とその基本/心肺蘇生法/日常的な応急手当/大気汚染と健康/水質汚濁・土壌汚染と健康	応急手当の意義や手順について理解する。心肺蘇生法の原理や手順について理解する。日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。 レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。不合格は再提出とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
芸術・音楽 I		2	6	8	日1・平4
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜を観て歌を歌ったり、楽器を演奏する等幅広い活動を体験し、自由に自己を表現する力を養う。 ・さまざまな種類の音楽にふれることで感性を高め、世界各国の文化を理解しようとする心、他人を思いやる心を育てる。 				
評価規準	音楽を形づくっている要素を知覚することで、音楽に対する理解を深め、音楽活動の喜びを味わい、主体的に創意工夫を生かした音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	楽譜の読み方(1) 楽譜の読み方(2)	楽譜にふれることで、音符、記号等に慣れる。 さまざまなパターンの曲のリズムの練習をする。		
	2				
2	3	楽譜の書き方 上を向いて歩こう	基本的な楽譜の書き方を学ぶ。 音符を書き込むことで楽譜を完成させる。		
	4				
3	5	楽器の種類について 短調と長調	楽器の構造、種類について理解する。 色々な楽器の音色・響きにふれる。		
	6				
4	7	演奏形態	さまざまな演奏形態について学習する。 弦楽器、管楽器、打楽器について学習する。		
	8				
5	9	オペラの世界 ミュージカルの世界	オペラの要素と歴史について学習する。 ミュージカル、バレエの世界について学習する。		
	10				
6	11	西洋音楽史 いろいろな音楽	バロック、古典派、近代の音楽について学習する。 声楽曲、独奏曲、オーケストラについて学習する。		
	12				
評価方法	レポート・スクーリング・実技・作品を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
芸術・美術 I		2	6	8	日1・平4
目標	身近なところにある美しさから、絵画鑑賞デザインに触れ、感受性、生活の中の感じ方や想像力を養う。				
評価規準	美術や美術文化を幅広く理解し、創造的な美術を表現するために必要な技能を身に付け、感性や想像力を働かせて主題を生成し、構想を練ることができている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	デッサン①	グラデーションについて学習する。 立体グラデーションについて学習する。		
	2				
2	3	フロッタージュ(こする)	イメージデザインについて学習する。 ポスターカラー、色鉛筆の使い方について学習する。 学校中を鉛筆でこする。		
	4				
3	5	デザイン・デッサン 一点透視	遠近法を学ぶ。		
	6				
4	7	切り絵	紙で立体物を作る。		
	8				
5	9	色彩 マーブリング	色の構成を学ぶ。色で紙を染める。		
	10				
6	11	絵文字 芸術鑑賞	絵文字について学習し、練習する。 芸術鑑賞について理解する。		
	12				
評価方法	レポート・スクーリング・実技・作品を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
芸術・書道 I		2	6	8	日1・平3
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の幅広い活動を通し、書を愛好する心情を養う。 ・書写能力を高め、書の表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。 				
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞などの創造的活動に取り組むことができる。 ・書の効果的な表現の技能を身につけるとともに、自らの意図に基づいて表現を工夫することができる。 ・文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを味わうことができる。 				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	書写の確認 用具用材 姿勢 執筆法	用具・用材・姿勢・構え方・筆の使い方を理解する。		
	2	漢字の「楷書の用筆法・結構法」	楷書の用筆・運筆・結構や字形のとり方を理解し、練習する。		
2	3	楷書の成立と唐の四大家	楷書の成立と変遷・様々な書風があることを学ぶ。		
	4	楷書「臨書と鑑賞」	臨書の意味や方法を理解し、関連する用語についても理解する。		
3	5	行書と草書	行書と草書の特徴を理解し、練習する。		
	6	行書・草書「臨書と鑑賞」	臨書を通して、用筆・運筆・字形のとり方を学ぶ。		
4	7	隷書の特徴「臨書と鑑賞」	隷書の特徴を理解し、臨書を通して、用筆・運筆・字形を学ぶ。		
	8	篆書の特徴「臨書と鑑賞」	篆書の特徴を理解し、臨書を通して、用筆・運筆・字形を学ぶ。		
5	9	仮名の書「成立・筆使い」	成立過程や種類を理解し、基本的な線・運筆を練習する。		
	10	仮名の書「連綿・変体仮名」	仮名の特徴である連綿や変体仮名について学ぶ。		
6	11	創作①	手順を理解し、学んだ古典の技法を生かして創作する。		
	12	創作②	自分で選んだ言葉・詩文で創作する。		
評価方法	レポート・スクーリング・実技・作品を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
芸術・書道Ⅱ		2	6	8	日2・平4
目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞などの創造的活動に取り組むことができる。 ・書の効果的な表現の技能を身につけるとともに、自らの意図に基づいて表現を工夫することができる。 ・文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを味わうことができる。 				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	漢字の書「楷書」(鑑賞と臨書)	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。楷書の古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
	2	漢字の書「行書」(鑑賞と臨書)	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。行書の古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
2	3	漢字の書「草書」(鑑賞と臨書)	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。草書の古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
	4	漢字の書「隷書」(鑑賞と臨書)	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。隷書の古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
3	5	漢字仮名交じりの書① 篆刻	名筆の鑑賞に基づき表現を工夫し、個性的に表現すること。意図に即した表現と用具・用材の関係を工夫すること。		
	6	漢字仮名交じりの書② 篆刻	表現形式に応じて、全体の構成を工夫すること。感興や意図に応じた素材や表現を構想し、工夫すること。		
4	7	漢字の書「篆書」	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。篆書の古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
	8	漢字の書「五体」(創作)	意図に即した表現と用具・用材の関係を工夫すること。表現形式に応じて、全体の構成を工夫すること。感興や意図に応じた素材や表現を構想し、工夫すること。		
5	9	仮名の書(鑑賞と臨書)	書体や書風に即した用筆・運筆を理解し、工夫すること。名筆に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。		
	10	仮名の書(鑑賞と臨書)	表現形式に応じて、全体の構成を工夫すること。感興や意図に応じた素材や表現を構想し、工夫すること。		
6	11	創作①	主体的な構想に基づき、個性的に表現すること。		
	12	創作②	主体的な構想に基づき、個性的に表現すること。		
評価方法	学習態度、作品等(60点)とレポート評価(40点)で評価する。				



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
外国語・英語コミュニケーション I		3	9	12	1
目標	日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な内容を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
評価規準	英語でコミュニケーションできるように、リスニングやスピーキングに時間をかけ、英語に対する苦手意識をなくし、英語の楽しさを理解する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	基礎的な文法事項の理解	人称代名詞、be動詞、一般動詞、3単現のS、基本文型を学習する。		
	2				
2	3	Lesson1、Lesson2	be動詞、一般動詞の現在形・過去形、疑問文、進行形の作り方を学習する。		
	4				
3	5	Lesson3	助動詞、未来形be going to の用法を学習する。		
	6				
4	7	Lesson4	不定詞の基本的な用法を学習する。		
	8				
5	9	Lesson5、Lesson6	動名詞と受け身の用法を学習する。		
	10				
6	11	Lesson7、Lesson8	現在完了形およびItの用法を学習する。		
	12				
7	13	Lesson9	関係代名詞の用法を学習する。		
	14				
8	15	Lesson10	原級・比較級・最上級の使い方を学習する。		
	16				
9	17	Reading 2	仮定法の学習および1年間の学習内容の総復習をする		
	18				
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
外国語・英語表現 I		2	6	8	2
目標	基本的な文法事項を中心として、コミュニケーション能力を育成するため、基礎から応用まで、個々の生徒の実力に合わせて習熟度を高める。				
評価規準	英語の基礎文法から応用まで幅広く理解している。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	文の種類 Lesson1	いろいろな文について学習する。		
	2	文型 Lesson2	5文型について学習する。		
2	3	時制 Lesson3	現在形、過去形、現在進行形、過去進行形について学習する。		
	4	時制 Lesson4	未来の表現について学習する。		
3	5	完了形 Lesson5・6	現在完了形、過去完了形および未来完了形について学習する。		
	6	助動詞 Lesson7・8	can、may、must、shouldの用法について学習する。		
4	7	受け身 Lesson9	受け身の用法について学習する		
		不定詞 Lesson10	名詞、形容詞、副詞の基本用法について学習する。		
5	8	動名詞 Lesson11	動名詞の基本用法について学習する。		
	9	分詞 Lesson12・13	現在分詞、過去分詞および原形不定詞について学習する		
	10	関係詞 Lesson14・15・16	関係代名詞、関係副詞の用法について学習する。		
6	11	比較 Lesson17・18	原級・比較級・最上級について学習する。		
	12	仮定法・話法 Lesson19・20	仮定法、話法とは何か学習する。		
	13	総復習 Lesson1～20	総復習する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				